



学校だより第6号

令和8年9月30日

新宿区立戸塚第三小学校



今年度は開校101年目です

実りの秋、新たな挑戦の秋

主幹教諭

暑さも和らぎ、朝夕には涼しく心地よい風を感じる季節となりました。秋は「スポーツの秋」「読書の秋」と言われるように、落ち着いて学習や運動に取り組むことができる時期です。学校では、すでに12月の音楽会に向けた学習を始めています。11月の運動会に向けた準備や練習を10月から始めます。5年生は女神湖移動教室を予定しており、それぞれの学年で充実した活動を展開する実りの秋となります。

10月13日から後期となります。ちょうど1年間の折り返し地点です。子供たちは前期の間に、学習面でも生活面でもさまざまな経験を積み重ね、多くの成長を遂げました。この節目の時期に、これまでの学びや成果を振り返るとともに、自分自身の課題にも目を向け、後期に向けた新たな目標をもって学校生活を送ることができるよう励まし支えていきます。

この時期になると思い出すことがあります。高校生の時、野球部に所属していました。3年生が引退し、2年生が最上級生となって迎える秋季大会を前に、「さあ、やるぞ!」という気持ちが心の中に湧き上がってきたことを今でも鮮明に覚えています。夢中で白球を追いかけながら、自分たちの力でチームを引っ張っていこうと必死でした。振り返ってみると、どんなことでも上達の原動力となるのは、「やらされる」気持ちではなく、「やってみたい」「頑張りたい」という意欲だったように感じています。

後期のスタートにあたり、一人一人が自分の目標を決めて挑戦できるように働きかけていきます。大きな目標をもつことも大切ですが、それに近づくための頑張れば達成できそうな具体的な目標を立てることも必要です。例えば、「毎日10分読書をする」「漢字練習を毎日続ける」「友達に自分から挨拶をする」といったものでも構いません。達成できたら大きな〇を付け、次の目標に挑戦する。その積み重ねが大きな成長へとつながっていきます。

ご家庭でもぜひ、お子さんと前期を振り返りながら、後期に向けて話し合ってください。

心を育む「道徳」

道徳担当

子供たちのよりよく生きようとする心を育むため「道徳」に力を入れて取り組んでいます。2学期は、9月28日から10月2日までを「道徳週間」とし、「相手の立場になって親切にしよう。」

「家族や生活を支えてくれている人々を大切にしよう。」「友達やまわりの人に親切にしよう。」「地域の文化や生活に親しもう。」の中から一人一人がめあてを決め、毎日振り返りを行っています。

9月29日の学校公開では、全学級で道徳科の授業を行いました。道徳授業地区公開講座では、講師をお招きし、「心を育む～よりよいコミュニケーションとは～」をテーマにご講演をいただきました。コミュニケーションのあり方について考える貴重な機会となりました。

読書の秋

図書担当

秋といえば、「読書」にふさわしい季節です。本には、今までに知らなかった世界や考え方、心を豊かにする言葉がたくさん詰まっています。物語の世界を旅したり、興味のあることを深く調べたりするなど、楽しみ方もそれぞれです。1冊の本との出会いが、新しい興味につながることもあります。

先日、多くの応募の中から当選し、「国際理解」に関する本を、日本教育公務員弘済会よりたくさんご寄贈いただきました。世界には多くの国があり、違った文化をもって暮らしています。読書を通して、様々な文化に触れ、世界を広げる経験になることを願っています。

ご家庭でも、秋の夜長にぜひお子さんと一緒に読書を楽しまれてはいかがでしょうか。